

# シラタマカズラ

[木本] 《忌避》



葉は対生し全縁。



樹幹をびっしり覆う。



白い珠のような果実。

## 区別のポイント

葉は2列に並んで対生する。付着根を出して岩や樹幹に登る。秋から春に白い直径5mm程の果実をたくさん付ける。

**形態** 常緑つる性木本。

**分布** 本州（紀伊半島）・四国・九州・沖縄

**名前の由来** 白玉葛。

**葉** 〈全体〉倒披針形または倒卵状楕円形で長さ1.5～5cm、幅5～25mm。

〈付き方〉対生。

〈葉柄〉長さ2～4mm。

〈基部〉広くさび形から円形。

〈葉先〉尖る。

〈縁〉全縁。

**備考**

**出典** 4, ※